

様式第4号(第5条関係)

政務活動費収支報告書

令和 4年 3月 31日

島田市議会議長 大石 節雄 様

議員氏名 藤本 善男

令和 3年度の政務活動費について、次のとおり報告します。

収入の部

単位：円

項目	決算額	摘要
政務活動費交付金	183,326	
計	183,326	

支出の部

単位：円

項目	決算額	摘要
調査研究費	0	
研修費	25,000	自治未来塾2022
広報費	0	
広聴費	0	
要請・陳情活動費	0	
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	42,935	書籍、動画セミナー購入
その他の経費	0	
計	67,935	







政務活動費残額 115,391 円

※ 調査研究その他の活動の概要及び領収書を添付してください。



政務活動費支出決算額明細書

項目	支出明細		領収書貼付 用紙の番号
研修費		25,000 円	
	自治未来塾2022 (構想日本主催) (R4.1.23、2.19-20、3.26)	25,000 円	
	・旅費	0 円	1-1
	・受講料	25,000 円	1-2
資料購入費		42,935 円	
	・月間ガバナンス (5月～3月分)	11,495 円	2
	・書籍 (SDGsの不都合な真実「脱炭素」が世界を救うの大嘘)	1,320 円	3
	・書籍 (日本を蝕む 新・共産主義ポリティカル・コレクトネスの欺瞞を見破る精神再武装)	1,540 円	4
	・書籍 (議員必携 第11次改訂新版、全国町村議会議長会)	3,080 円	5
	・書籍 (地方議会運営辞典 第2次改訂版、地方議会運営辞典)	5,500 円	
	・動画セミナー (コロナと議員活動)	10,000 円	6
	・動画セミナー (コロナとワクチン接種について)	10,000 円	
計		67,935 円	

	議 長	副議長	事務局長	次 長	係 長	担 当
決 裁						

領収書貼付 用紙の番号	1-1
----------------	-----

政務活動出張申請書

△ 令和4年2月8日
令和4年1月7日

島田市議会議長 大石 節雄 様

島田市議会議員 藤本 善男

市政調査研究（調査研究 **研修**）のため、下記に出張をたく届け出ます。

出張年月日	令和4年1月23日（土）【Web】 令和4年2月19日（土）～20日（日）【現地】 令和4年3月26日（土）【Web】
出張先	福岡県三井郡大刀洗町富多819 大刀洗町役場
出張の目的	構想日本主催 自治みらい塾2022 参加のため (詳細日程は別紙参照ください。) なお、本セミナーは3回に分けて行われ、第1回（1月23日）、第3回（3月26日）はオンラインによる受講、第2回（2月19日～20日）は、現地またはオンライン研修となります。 今回は第2回の出張申請をさせていただきます。
行程・利用交通 (交通手段の理由)	別紙の行程表（政務活動出張旅費支出伝票）による。 (但し、コロナ感染症の状況により、オンライン研修となる可能性があります)
旅費	別紙 政務活動出張旅費支出伝票による △感染症拡大により オンライン研修へ変更 旅費=0円

自治みらい塾2022の受講生募集！

地域の人口減少・経済停滞、コロナによる暮らしの変化など地域の課題は増える一方です。行政だけでなく、市民や事業者などが対話を通して、まちの状況を把握し、地域の潜在力を生かした多様なまちづくりを進めていくことが必要です。

自治みらい塾は、行政職員に限らず議員や市民が、地方自治の最先端事例を基に、多様なものの見方と実践的な知恵の出し方を学び合う場です。そのことが同じ志を持つ横のつながりにもなるのです。

■自治みらい塾は、3つのポイントをみんなで学べる場です

- ・まちをどうしていくのか（福祉を軸にする？観光に力を入れる？何をやっていく？）
- ・まちの人たちの意思をどう反映していくのか
- ・財政はさらに厳しくなり国の支援も減る中で、どう自立していくのか

■プログラム概要

全てのプログラムは「オンライン（Zoom）」で受講することができ、後日のアーカイブ視聴も可能です。また、第2回は福岡県大刀洗町で、市民対話、地域活性化の先端事例を学ぶ現地研修を行います。

第1回：1月23日（日）14時～17時（予定）【Zoomでのオンライン研修】

- ・講義「今、私たちはどういう時代にいるのか」*講師：加藤秀樹（構想日本代表）
- ・講義「市民と行政はどう向き合うか」*講師：福嶋浩彦（中央学院大学教授、元我孫子市長）
- ・グループディスカッション「市民と連携したまちづくりを進めるために、行政はどう変わるか」

第2回：2月19日（土）10時～17時、20日10時～15時（予定）【現地&Zoomでのオンライン研修】

- ・講義「人口減少社会における市民対話の意義」*講師：福嶋浩彦
- ・講義「自分ごとと化会議の進め方と議論のポイント」*講師：荒井英明（構想日本特別研究員）
- ・ゴミの減量をテーマにした大刀洗町住民協議会（自分ごとと化会議※）の見学及び意見交換
- ・ゴミ出しを起点に地域課題を解決する先端事例「MEGURU STATION※」の見学及び意見交換など

第3回：3月26日（土）13時～17時（予定）【Zoomでのオンライン研修】

- ・グループディスカッション「自分の仕事を見つめなおす」
- ・講義「ワクチン接種から見た自治体の課題と目指す姿」*講師：伊藤伸（構想日本総括ディレクター）

※自分ごとと化会議（構想日本が行う、無作為に選ばれた住民が地域の課題を「自分ごと」として考える会議）

※MEGURU STATION（アマタ株式会社が行う「ごみの減量・資源化向上」「コミュニティ活性化」を目的とした資源回収の拠点。住民が分別した資源を持ち込むことで、人と人との交流を作り、賑わいを生み出す取組み）

■募集要項

主催	政策シンクタンク 構想日本
募集人数	定員25名
応募資格	地域の課題解決や未来創造のために、考え行動したいと思っている人（年齢や役職等は問いません）
開催場所	第1回と第3回はZoomを使っのオンライン研修です。第2回は、福岡県大刀洗町役場にて現地研修を行います（オンライン参加も可）
費用	受講料：25,000円（税込）※旅費・食費等は各自ご負担ください。
応募手続	・「Googleフォーム」からのお申込み（右記、QRコードよりアクセスできます） ・構想日本ホームページ掲載の「申込み用紙」を使ったお申込み 確認事項、ご不明な点については、下記のお問合せにご連絡ください。
お問合せ	構想日本：永由、浮城 TEL：03-5275-5607 Email：jichimirai@kosonippon.org

構想日本は、独立・非営利の政策シンクタンクです。「民」の立場で政策提言及びその実現に向けた活動を行っています。公益法人制度、国・自治体のバランスシート導入、道路公団民営化など多くの政策提言・実現活動、また、事業仕分けや自分ごとと化会議など国・自治体改革活動を行っています。

	議長	副議長	事務局長	次長	係長	担当
決裁			●	●	●	●

領収書添付用紙の番号	
------------	--

政 務 活 動 出 張 旅 費 支 出 伝 票

出張日	令和 4 年 2 月 1 9 日 ~ 4 年 2 月 2 0 日
出張先	福岡県三井郡大刀洗町 (住民協議会)
旅費	交通費 宿泊費 日当 参加者負担金等
下記計算の基礎参照	38,850円
計	38,850円

計算の基礎

旅程	合計	998.7 km
島田 ~ 掛川 ~ 博多 ~ 基山 ~ 西大刀洗 ~		
基山 ~ 博多 ~ 掛川 ~ 島田 ~		

鉄道運賃 ※601キロ以上は往復割引適用(同一経路のみ)、地下鉄等は2キロ以上から
↓片道キロ数

島田 ~ 基山	(990.3 km)	往復	25,200 円
往復割引	()	往復	-2,520 円
基山 ~ 西大刀洗	(8.4 km)	往復	660 円
	()	往復	円
		計	23,340 円

加算運賃 (JR北海道、四国、九州) () km () 円

鉄 道 運 賃 計 23,340 円

特急料金等 ※乗継割引利用な場合は利用、座席指定の可否確認、片道キロ数確認

新幹線	掛川 ~ 博多 (945.6 km)	往復	15,140 円
在来線特急	() km	往復	円
在来線急行	() km	往復	円
座席指定料金	() km	往復	円

↓片道キロ数

車賃(バス・タクシー)	西大刀洗 ~ 大刀洗町役場 (5.4 km)	往復	370 円
航空賃、船賃	()	往復	円
交 通 費 合 計			38,850 円

宿泊料	@13,100 × 泊 ()	円
日当	@2,600 × 日 + @1,300 × 日 () ↓日当の調整がある場合は、理由を記載すること	円
その他	()	円
旅 費 合 計 Δ 0円 38,850円		

領 収 書 等

項 目	研修費		
支出明細	受講料	領収書貼付 用紙の番号	1-2
自治未来塾 2020 受講料		領収書 別添	

領 収 証

2022年2月2日

藤本 善男 様

東京都千代田区平河町2-9-2 エスパリエ平河町3F

一般社団法人構想日本 代表理事 加藤秀樹



下記の金額を確かに受領いたしました

金額 25,000円

(うち消費税額及び地方消費税の額 2,272円)

但：研修受講料 として

領 収 書 等

項 目	資料購入費		
支出明細	月間ガバナンス年間購読料	領収書貼付 用紙の番号	2

・月間ガバナンス 2021年5月号から2022年3月号迄
 ※振込金受領書金額 12,540 円のうち、政務活動費対象 11 か月分 11,495 円を計上

振込金受領証
(金融機関・コンビニエンスストア用)

私達人氏名
藤本 善男

様

お問い合わせ番号
707211875

金額 **12,540**

内消費税額 **1,140**

受取人
 株式会社きよせい

振込番
 みずほ銀行東京営業部

普通 **4913720**

かぎ 30㊦

受領印

収入印紙貼付欄
(CVS専用)

受領日附印

(お客様控え)



領 収 書 等

項 目	資料購入費		
支出明細	・書籍 (SDGs の不都合な真実「脱炭素」が世界を救うの大嘘)	領収書貼付用紙の番号	3
領収書 別添			

領収書 NO.3 別添.

amazon.co.jp

注文番号249-3743873-6790208の領収書
このページを印刷してご利用ください。

藤本善男 様

発行日: 2022年2月22日
注文日: 2021年11月26日
Amazon.co.jp 注文番号: 249-3743873-6790208
ご請求額: ¥ 1,320

2021年11月26日に発送済み

注文商品	価格
1点 SDGsの不都合な真実「脱炭素」が世界を救うの大嘘, 川口 マーン恵美 販売: アマゾンジャパン合同会社	¥ 1,320
コンディション: 新品	

お届け先住所:
藤本善男
427-0031
静岡県 島田市鶴網562-2

配送方法:
お急ぎ便

支払い情報

支払い方法: Mastercard 下4桁 5013 一括払い	商品の小計: ¥ 1,320 配送料・手数料: ¥ 0 ----- 注文合計: ¥ 1,320 ----- ご請求額: ¥ 1,320
請求先住所: 藤本善男 427-0031 静岡県 島田市鶴網562-2	

クレジットカードへの請求 MasterCard(下4けたが5013): 2021年11月26日: ¥ 1,320

注文の状況を確認するには、[注文内容](#)をご覧ください。

利用規約 | [プライバシー規約](#) ©1996-2020, Amazon.com, Inc. and its affiliates

領 収 書 等

項 目	資料購入費		
支出明細	書籍(日本を蝕む 新・共産主義ポリティカル・コレクトネスの欺瞞を見破る精神再武装)	領収書貼付用紙の番号	4
領収書別添			

amazon.co.jp

注文番号249-5568939-1264608の領収書
このページを印刷してご利用ください。

発行日: 2022年3月21日
注文日: 2022年2月22日
Amazon.co.jp 注文番号: 249-5568939-1264608
ご請求額: ¥ 1,540

藤本善男様

2022年2月22日に発送済み

注文商品	価格
1点 日本を蝕む 新・共産主義 ポリティカル・コレクトネスの欺瞞を見破る精神再武装 馬淵 睦夫 販売: アマゾンジャパン合同会社 コンディション: 新品	¥ 1,540

お届け先住所:
藤本善男
427-0031
静岡県 島田市鶴網562-2

配送方法:
お急ぎ便

支払い情報

支払い方法 Mastercard 下4桁 5013 一括払い	商品の小計: ¥ 1,540 配送料・手数料: ¥ 0
請求先住所: 藤本善男 427-0031 静岡県 島田市鶴網562-2	注文合計: ¥ 1,540 ご請求額: ¥ 1,540

クレジットカードへの請求 MasterCard(下4けたが5013): 2022年2月22日: ¥ 1,540

注文の状況を確認するには、注文内容をご覧ください。

領 収 書 等

項 目	資料購入費		
支出明細	・書籍（議員必携、地方議会運営辞典）	領収書貼付 用紙の番号	5
<div style="text-align: right; margin-bottom: 5px;">領収書 別添</div> <p>書籍 1（議員必携 第 11 次改訂新版、全国町村議会議長会） 書籍 2（地方議会運営辞典 第 2 次改訂版、地方議会運営辞典）</p>			

amazon.co.jp

注文番号249-3608286-2967835の領収書
このページを印刷してご利用ください。

藤本善男 様

発行日: 2022年3月21日
注文日: 2022年2月22日
Amazon.co.jp 注文番号: 249-3608286-2967835
ご請求額: ¥ 8,580

2022年2月22日に発送済み

注文商品	価格
1点 議員必携 第11次改訂新版, 全国町村議会議長会 販売: アマゾンジャパン合同会社	¥ 3,080
コンディション: 新品	
1点 地方議会運営事典 第2次改訂版, 地方議会運営研究会 販売: アマゾンジャパン合同会社	¥ 5,500
コンディション: 新品	

お届け先住所:
藤本善男
427-0031
静岡県 島田市鶴網562-2

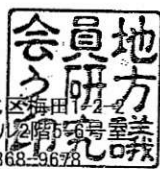
配送方法:
お急ぎ便

支払い情報

支払い方法: Mastercard 下4桁 5013 一括払い	商品の小計: ¥ 8,580 配送料・手数料: ¥ 0
請求先住所: 藤本善男 427-0031 静岡県 島田市鶴網562-2	注文合計: ¥ 8,580 ご請求額: ¥ 8,580
クレジットカードへの請求	MasterCard(下4けたが5013): 2022年2月22日: ¥ 8,580

注文の状況を確認するには、注文内容をご覧ください。

領 収 書 等

項 目	資料購入費		
支出明細	動画セミナー2本（作品名は下記参照）	領収書貼付 用紙の番号	6
<p>・動画セミナー1（コロナと議員活動）… ￥10,000</p> <p>・動画セミナー2（コロナとワクチン接種について）… ￥10,000</p> <p style="text-align: center;">領 収 証 2022 年 2 月 2 日</p> <p style="text-align: center;">島田市議会議員 藤本善男 様</p> <hr style="width: 50%; margin: auto;"/> <p style="text-align: center;">★ ¥20,000</p> <hr style="width: 50%; margin: auto;"/> <p>但 コロナと議員活動 コロナとワクチン接種について 資料・動画データ代として</p> <p style="margin-left: 20px;">上記正に領収いたしました</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <p>地方議員研究会 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-2-2 大阪駅前第2ビル2階506号室 TEL 050-6868-9678</p>  </div>			

調査研究報告書

令和 4年 3月31日

島田市議会議長 大石 節雄 様

島田市議会議員 藤本 善男

令和 3年度の調査研究テーマに基づく活動等について、次のとおり報告します

1. PFI・SIBなど公民連携による市役所業務の効率化等に関すること

旧金谷庁舎跡地利活用事業の推進にあたり、市は民間活力を活かしたPFIを整備手法の方針とし、これまで事業成果が見えにくかった福祉分野の事業を成果報酬型とする、SIB（ソーシャルインパクトボンド）を取り入れることを前提として9月定例議会において同事業を行う指定管理者の選定に関する議案が提出された。

コロナ感染症の第5波により先進地等での調査研究が行えず、既存知識の中での議案審査を余儀なくされたが、所属する総務生活常任委員会としても、先進自治体の調査研究を行うことができていないため、次年度も引き続き公民連携手法の調査を継続することとしたい。

2. デジタル・トランスフォーメーション等新技术に関すること

デジタル化の進展を市政運営に活かそうとするデジタル・トランスフォーメーション等の新技术について、前年に引き続き外部の展示会へ参加し、調査研究するよう、テーマを選定した。

議会としても議員用タブレットが配備され、デジタル・トランスフォーメーションに関する調査研究は喫緊の課題であったが、正副議長で近隣市の実態調査を行った以外、政務活動費を使った調査研究は実施できなかった。

前年から試行しているAIを活用した音声書き起こしサービスの導入検討については、文字起こしの精度向上は改善が必要であるが、議会事務局の日常業務として定着しつつあるので、より良いサービスの情報入手に引き続き努めたい。

3. 産業創出、雇用創出に関すること

先進地視察を行う予定であったが、コロナ禍の影響により調査研究を行うことができなかった。次年度以降も継続調査を検討したい。

4. 議会改革に関する事

令和3年5月の市議会議員選挙で、あらたな議会構成となったことから、議会運営に不慣れな議員や、直近の議会ルール変更を経験していない元職議員に議会運営を理解していただく必要があり、先進事例の調査研究は、実施することができなかった。

委員長を拝命している予算決算特別委員会においても、毎定例会の都度委員からの意見を出していただき、委員会としての方針を示すなど、委員会運営への理解を深めることに注力することとなった。

当面の課題として、予算決算特別委員会の進め方についての意見を踏まえた方針決定を行う必要があるため、これまで得た知見を基に方針を示すこととしたい。

また、これまでに経験したことの無い議会運営の課題に直面する機会が多々あったことから、書籍として「議員必携」「地方議会運営辞典」の2冊を購入し、議会運営の正しい判断のための参考とした。

5. 自治体が直面している諸課題に関する事

- ・ 本年度もコロナ禍への対応が重要課題であった。議会構成も変わり常任委員会や本会議において、ワクチン接種等の様々な問題が提起されることとなり、議員としての基礎知識習得が課題となったため、動画セミナーの教材を2テーマ購入し、学習を行った。内容については厚生教育常任委員会所属の一部議員にも情報提供を行い、コロナウイルスおよびコロナワクチンへの正しい理解を進めることができた。

- ・ 市では令和3年3月にゼロカーボン・シティの表明を行い、脱炭素社会実現に向けた活動を行うこととなった。令和3年11月議会では、その取り組み内容に関する一般質問を行うこととし、参考文献として「SDGsの不都合な真実「脱炭素」が世界を救うの大嘘」を購入し、一般質問に臨んだ。

- ・ 令和4年2月24日のロシアのウクライナ侵攻に対し、世界中から非難が寄せられており、国内においても地方議会で侵攻に抗議する決議文が続々と採択された。このような中、島田市議会でも決議採択の機運が高まり、決議文を検討することとなった。

このような情勢を踏まえ、ロシアとウクライナの紛争に関する正しい知識を得ようと、「日本を蝕む 新・共産主義ポリティカル・コレクトネスの欺瞞を見破る精神再武装」を購入した。とりわけ第三章の“危険な国ロシア”に書かれたウクライナとロシアの関係について、貴重な情報を得ることができた。

- ・ 住民参加のまちづくりは、人口減少社会に向けた大切な考え方であり、島田市としても積極的な取り組みが必要になっている。このような状況を踏まえ、構想日本が主催する自治未来塾2022が開催されることとなったため、オンラインで参加することとした。延べ4日間の研修会であったが、福岡県大刀洗町の取り組みを初めとする、様々な自治体の状況を知ることができ、参考となった。

研修報告書

令和4年 3月 30日

島田市議会議長 大石 節雄 様

島田市議会議員 藤本 善男

次のとおり研修会に参加したので、報告します。

研修年月	令和4年 1月 23日 (土) 【Web】 2月 19日 (土) ~20日 (日) 【Web】 3月 26日 (土) 【Web】
研修名 及び 主催者名	<p>研修名：自治未来塾2022 (主催者：構想日本)</p> <p>第1回 1月 23日 (土)</p> <p>講義①『今、私たちはどういう時代にいるのか』 講義②『市民と行政はどう向き合うのか』 グループディスカッション 『これからのまちづくりを進めるために、 市民がどう変わるか、行政がどう変わるか』</p> <p>第2回① 2月 19日 (土)</p> <p>講義①『人口減少社会における”自立する自治体づくり”』 講義②『自分ごと化会議の進め方と議論のポイント』 講義③『大刀洗町の住民協議会 (自分ごと化会議) の面白さ』 第4回大刀洗町住民協議会の見学 (13:00~16:00) グループディスカッション 『「自分ごと化会議」の見学を終えての感想』</p> <p>第2回② 2月 20日 (日)</p> <p>先端事例「MEGURU STATION」の見学及び意見交換 「MEGURU STATION」の説明と体験 「MEGURU STATION」に関わる住民との意見交換 グループディスカッション 『人口減少社会におけるまちの自立にむけて、何が必要か』</p> <p>第3回 3月 26日 (土)</p> <p>講義①『顔の見える電力は、社会をどう変えるのか』 講義②『ワクチン接種から見た自治体の課題』 グループディスカッション「自分の仕事を見つめなおす」</p>

今回のセミナーは、独立・非営利の政策シンクタンク構想日本主催によるセミナーであり、地方自治の先端事例を学ぶことを目的として参加した。当初の予定では第2回目のプログラムを福岡県大洗町で行う予定であったが、コロナ禍の中、まんえん防止等重点措置が発令されていたため、Webにて参加することとなった。

受講内容について以下記載する。

第1回 1月 23日 (土)

講義①『今、私たちはどういう時代にいるのか』

講師：加藤秀樹（構想日本 代表）

参考図書：『ツルツル世界とザラザラ世界・世界二制度のすすめ』

～講義内容については要点を以下掲載する～

- ・大きく構えて長い目で見るのが大切。短期で見ると間違ふことがある。
- ・SDGsの時代だが怪しさがあり、資本主義は終わりを告げようとしている。
- ・地球環境の問題と、ひきこもりの問題は同じ背景があるのではないかと考えている。
- ・格差と分断を無くすには、もっと成長して分配へ回すことだ、との説があるが、これは間違いであると思う。成長は否定しないが成長にツケを回さないことが大切である。
- ・税収が増えない中、行政は何をするか、民は何をするかを考えなければいけない。
- ・北海道の十勝地方、本別町では171床あった病院が19床となってしまったが、死者は変わらず死因が変わったとのこと。
- ・病院では臓器、心臓、肺の疾患だったが、在宅が増えたことで、老衰が増えた。終末医療とは何かということが問われている。
- ・自助、共助、公助（官所）と言われるが、公助から見て自助、共助で何ができるか考えてみる必要がある。

講義②『市民と行政はどう向き合うのか』

講師：福嶋浩彦（中央学院大学教授、元我孫子市長、元消費者庁長官）

～講義内容については要点を以下掲載する～

- ・結婚が強制から選択制へと変わり、社会的には進歩したと考えている。

報告事項1

	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から出発、一人ひとりから出発することは矛盾と映るがそうでは無いと思う。 ・自治体が国の下請け（つるつる）となってしまうとは、市民と向き合えない。 ・自分が幸せと思う社会を考えてみるのが大切であり、それを実現するのが自治ではないかと思う。 ・行政に対して市民は主権者である。選挙で首長や議員を選ぶということは、首長、議事を決定する際に市民が参加していることになる。 ・予算を決定する際、次年度事業としてお願いすると、予算編成中なので答えられないと言ひ、最終的には財源不足で予算に入らなかったとの答えが返ってくることはよくあることだ。我孫子市では、予算編成作業を公表しており、4回の査定の都度広報紙、都度パブコメを受け付けることとした。 ・市民は議会への参加も必要である。請願については委員会で発言する事例が増えてきた。 ・大きなことは市民が直接決める（住民投票）時代である。 ・まちづくり、地域づくりの主体は市民である。 <p>グループディスカッション</p> <p>『これからのまちづくりを進めるために、 市民がどう変わるか、行政がどう変わるか』</p> <p>これからのまちをどうしていくか、街の人の意思をどのように反映していくか、財政厳しい中どう自立するかについて、グループディスカッションを行った。</p> <p>参加した2班では、「市民がまちのことを知る機会が少なく、知ろうとしない限り情報は来ない」、「補助金頼みではだめ、補助金に頼らないまちづくりが必用」との内容で取りまとめを行い、発表した。</p>
<p>報告事項2 -①</p>	<p>第2回① 2月 19日（土）</p> <p>講義①『人口減少社会における”自立する自治体づくり”』</p> <p>講師：福嶋浩彦（中央学院大学教授、元我孫子市長）</p> <p>参考図書：『最先端の自治がまちを変える』（福嶋著 2018 朝陽会）</p> <p>～講義内容については要点を以下掲載する～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口奪い合いの先に未来は無い。うまく小さくして質を高めることが必要である。エネルギーの地産地消など質を高めるには自立が必要である。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Aの代表、Bの代表を集めるのではなく、AとBを足して考える等の仕組みをみんなで集まって考える。 ・ 公募の委員は主張が変わらない確信犯である。 ・ 無作為抽出の場合では、多様な人が集まり対話を行うこととなる。民主主義の進化と呼べる手法である。 ・ 自分事化会議in松江では、原発をテーマにした。動かすか止めるかではなく、私はどんな社会が好きかどうありたいかを問う場である。 ・ 自立とは、市民起点でものを見て、自分の頭で考えること。 ・ 予算がヒモ付きの事業は、財政の組み立てが楽だが、ヒモが無くなると、何が必要かを考えるようになる。 <p>講義②『自分ごと化会議の進め方と議論のポイント』 講師：荒井英明（構想日本特別研究員） ～報告は割愛～</p> <p>講義③『大刀洗町の住民協議会（自分ごと化会議）の面白さ』 講師：村田まみ（大刀洗町地域振興課長） ～報告は割愛～</p> <p>第4回大刀洗町住民協議会の見学 ～報告は割愛～</p> <p>グループディスカッション 『「自分ごと化会議」の見学を終えての感想』 ～報告は割愛～</p>
報告事項2 -②	第2回② 2月 20日（日） 先端事例「MEGURU STATION」の見学及び意見交換 「MEGURU STATION」の説明と体験 講師：アマタ株式会社 ～報告は割愛～ 「MEGURU STATION」に関わる住民との意見交換 聞き手：荒井英明、村田まみ 話し手：校区センター長、自分ごと化会議委員 有償ボランティア、アマタ株式会社 ～MEGURU STATION説明に対する質疑を以下記載する～ Q. MEGURU STATIONへの会員登録を増やす方法は。 A. 口コミ、LINE、ビラ等である。

Q. 個別回収との違いは何か。

A. 分別が15種類に増えた（トレイ、卵パックなど）。量は未確認

Q. ステーションの利用状況は。

A. 50～60人が利用、ボランティア組織と協力している。

Q. ステーションで他の人に会えたとの回答率は。

A. 43%である。

Q. 回収した資源の流れは。

A. 町の委託先へ渡している。アルミはセンターの収益としている。

Q. 地域の協力を得るためのアプローチは。

A. 地域づくり委員会の委員長に相談、理解を得てスタートした。

Q. 行政が行っている回収業務へのメリット、デメリットは。

A. 燃えるゴミは減ったが、まずは生ごみ量を測定する必要がある。
デメリットは月1回の回収でふれあいセンター分が増えること。

Q. 100世帯から先の展望は。

A. 他の行政区から視察があるので、横展開が考えられる。

Q. 有価物を得るための分別の手間はどうか考えるか。

A. 今すぐ結論が出るものではないので、分別のあるべき姿を実験したい。

Q. 今後の経費負担はどうか考えるか。

A. 成果連動型で報酬を得たい。

～MEGURU STATION見学後の質疑～

Q. コミュニティの話が主体となるような印象だが、若い人の考えは。

A. 地域づくり委員会が主で、先輩が多い。30代は仕事が忙しいとのこと。生ごみを出す若い人はまだ少ない。

Q. 車に乗れない人の工夫はどうか（ふれあい収集）。

A. 町としても考える必要があると受け止めている。

グループディスカッション

『人口減少社会におけるまちの自立にむけて、何が必要か』

～報告は割愛～

第3回 3月 26日 (土)

講義①『顔の見える電力は、社会をどう変えるのか』

講師：大石英司（株式会社UPDATER代表取締役）

大石講師が代表を務めるみんな電気の取り組みについて講義をいただき、質疑を受けた。主な質疑について以下掲載する。

Q. 資金の地域循環について、どのようなお考えか。

A. 地域の新電力を作る際は、みんな電力などは裏方に回るべきと思う。地産地消は地域内の連携でシステム化すべきと考える。

Q. 取引を証明できるようにするにはどうするか。

A. 送電線で繋ぐことの発想転換をして、銀行のATMは遠隔地で預けたお金が、手元で引き出すことができるが、電力でも同じような発想で、預けと引き出しを行えないか考えた。

講義②『ワクチン接種から見た自治体の課題』

講師：伊藤伸（構想日本総括ディレクター）

構想日本総括ディレクターの伊藤氏から、ワクチン接種から見た自治体の課題とのテーマで講義をいただいた。講義の概要は以下の通りである。

報告事項3

新型コロナワクチン接種は、法定受託事務だが市町村が実施主体で、経費が全額国庫負担となっている。

ワクチン接種に関する厚労省からの通知は約350回で解読困難な文書となっているが、自治体が考える前に国が一律に決めようとしている状況もある。国は自治体の自主性を高め、自治体ができないことをいかにサポートするかを考える必要があり、地方も国のお墨付きをもらうスタンスからの脱却が必要である（国の指示でという責任逃れをしてはいけない）。

国は都道府県だけを見ている節があり、直接市区町村とコミュニケーションを取ることに限界もあるが、都道府県がきめ細かく市町村の状況を把握するにかかっている。国と地方の関係を再整理し、市町村が意見することは重要である。

グループディスカッション「自分の仕事を見つめなおす」

グループディスカッションでは「自分の仕事を見つめなおす」をテーマにして、自分自身の仕事や活動について意見交換することで、自分の仕事や活動を一度立ち止まって考えることを目的に、自分の仕事・活動を整理するため、「シート」を作成した。

自治体職員は「事業仕分けシート」、それ以外の参加者は「自分

	<p>の仕事・活動をみつめ直すシート」を作成した。意見交換を円滑に行うため、同じ班の受講生のシートを事前に読んだ上で、グループディスカッションに参加した。</p> <p>私は、「予算決算特別委員会の活動」を事業として選定し、1班のグループディスカッションに参加した。</p>
<p>まとめ</p>	<p>3か月に亘って行われた研修会は、これまでにあまり経験したことが無く、毎回講義やグループディスカッションなどが行われるので、内容的には大変良かったと思う。特に全国の自治体関係者や行政に関係する方々との意見交換はそれぞれの立場から貴重なご意見をいただき、新鮮な印象を受けた。</p> <p>研修の目玉は、大刀洗町の住民協議会と同町で行われている地域の交流を産み出すMEGURU STATIONの取り組みであったが、MEGURU STATIONの取り組みは、島田市で行われている不燃ごみの回収風景と似た印象であった。</p> <p>ごみ回収と地域の交流を結びつけることは良いことだが、地域交流が過度に優先され、むりやりストーリー仕立てをしているような印象を受けた。自然体で行う地域づくりを住民参加で行えるよう、考えたいと感じた。</p> <p>また、最終日に受けた講義は、2月定例会の当会派から質問したエネルギーの地産地消の取り組みのヒントとなった事業であり、コロナ禍において顕在化してきた国と地方の在り方なども、大変興味深いものであった。</p> <p>また、最後のグループディスカッションでは、「予算決算特別委員会の活動」をテーマとして、参加者に自分の立場や役割を説明し、多くの方から質疑をいただくなど、取り上げたテーマに高い関心を持っていただくことができた。</p> <p>私が目指す予算決算特別委員会のあり方についても多くのメンバーから賛同の意見をいただくとともに、今後の進め方については、「是非市民を味方にして、異を唱える議員からも賛同を得られるよう頑張っ て欲しい」との意見をいただくことができた。</p> <p>今回の受講を機に、これからの島田市政における住民参加のあり方については、引き続き活動を行っていくべきと感じた。</p> <p>また、今回の受講はすべてオンラインで行ったが、会議システムにおいてはZOOMを使い、資料共有などはサイボーズ社の業務アプリであるkintone(キントーン)を初めて体験した。</p> <p>講義後にはキントーン画面から、講義の様子がすべて画像データで閲覧できるよう整理されており、今後の会議の在り方についての参考となった。</p>